

令和4年11月定例

伊達市教育委員会 会議録

令和4年11月9日開催



令和4年11月定例伊達市教育委員会会議録

1 開催日時 令和4年11月9日(水)13時29分～16時04分

2 開催場所 伊達市役所 東棟3階 庁議室

3 出席者 教育長 菅野 善昌  
1番 菅野 千恵子 委員(教育長職務代理者)  
2番 関根 勝富 委員  
3番 貝羽 貴子 委員  
4番 穴戸 弘治 委員

4 欠席委員 なし

5 説明のため出席した者

教育部長	原 好則
教育総務課長 (兼学校給食センター所長)	大河原 克仁
教育総務課主幹(施設担当)	佐藤 真
生涯学習課長(兼ふるさと会館長)	菅野 公宏
学校教育課長	邊見 年成
こども部長	鹿股 敏文
こども未来課長	菅野 博文
ネウボラ推進課長	畠 香苗

6 本委員会書記

教育総務課総務企画係長	菅野 早苗
教育総務課総務企画係主事	大橋 勝

7 日程1 開会

○菅野教育長 令和4年11月定例伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席していますので会議が成立しています。また開会時刻は13時29分です。

8 日程2 会期の決定

○菅野教育長 会期決定についてお諮りします。会期は本日9日にしたいと思います。異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

○菅野教育長 異議なしと認め、会期は本日9日と決定します。

### 9 日程3 議事録署名委員の指名

○菅野教育長 議事録署名委員の指名に移ります。本日の議事録の署名は3番貝羽委員と4番穴戸委員にお願いします。また、10月定例会の議事録は1番菅野委員と2番関根委員に署名いただいておりますことをご報告いたします。

### 10 日程4 会議の進め方

○菅野教育長 本日の会議の進め方について、教育総務課長から説明願います。

○大河原教育総務課長

#### 1 議事

報告第9号 令和4年度伊達市一般会計補正予算（第7号）  
教育委員会分について

議案第28号 令和5年度伊達市公立小・中学校教職員人事異動に係る内申  
の方針について

議案第29号 令和4年度伊達市一般会計補正予算（第8号）  
教育委員会分について

#### 2 協議 伊達市教育大綱改定案について

#### 3 報告

- (1) 教育長から
- (2) 各教育委員から
- (3) その他

### 11 日程5 傍聴の許可

○菅野教育長 傍聴希望の方はいますか。

○菅野総務企画係長 いません。

### 12 日程6 議事

○菅野教育長 「報告第9号 令和4年度伊達市一般会計補正予算（第7号）教育委員会分について」各担当課長から説明をお願いします。

○菅野こども未来課長 資料により説明

○畠ネウボラ推進課長 資料により説明

○菅野教育長 ただいま説明あった報告第9号について、委員の質疑をお願いします。

○菅野委員 私立認定こども園と私立保育園が別々に記載されていますが、何か違いはありますか。

○菅野こども未来課長 予算上、事業別に記載しているためで違いはありません。

○菅野教育長 他になければ次に「議案第28号 令和5年度伊達市公立小・中学校教職員人事異動に係る内申の方針について」学校教育課長から説明をお願いします。

○邊見学校教育課長 資料により説明

○菅野教育長 確認ですが、公募対象は南会津管内のみですか。

○邊見学校教育課長 今年度は、南会津管内のみになると思います。

○菅野教育長 奥会津及び相双採用枠公募に似たような表現で記載されていますが、公募とは別と考えてよいですか。

○邊見学校教育課長 別となります。

○菅野教育長 委員の皆様から何かご意見等あればお願いいたします。

○菅野委員 職員異動について「AからAへの異動」と記載があります。詳しく説明をお願いします。

○邊見学校教育課長 Aというのは比較的規模の大きい学校です。本市の例で説明すると、保原小学校から伊達小学校への異動は原則行わないこととなります。

○菅野委員 小規模校の場合、年齢構成、性別等のバランスは、教職員の人数の関係もあり、難しいと思います。しかし個人的には、小規模校であればあるほど、年齢構成、性別等のバランスは大事であると思います。偏りのない異動にしてほしいと思います。

○邊見学校教育課長 十分留意しながら進めていきます。

○菅野教育長 他になければ質疑なしと認め、質疑を終結します。  
これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

○菅野教育長 異議なしと認め「議案第 28 号 令和 5 年度伊達市公立小・中学校教職員人事異動に係る内申の方針について」は原案のとおり可決されました。

次に「議案第 29 号 令和 4 年度伊達市一般会計補正予算（第 8 号）教育委員会分について」各担当課長から説明をお願いします。

○大河原教育総務課長	資料により説明
○菅野生涯学習課長	資料により説明
○邊見学校教育課長	資料により説明
○大河原学校給食センター所長	資料により説明
○菅野こども未来課長	資料により説明
○畠ネウボラ推進課長	資料により説明

○菅野教育長 ただいま説明あった議案第 29 号について、委員の質疑をお願いします。

○関根委員 電気料金、燃料費等の値上げによる増額補正が多いですが、子ども達の学習環境等の維持はお願いしたいと思います。学校や園で光熱費節約の対策は今後行う予定ですか。

○邊見学校教育課長 現在学校では SDGs に取り組んでいるため、その点からも節電等に協力依頼をしていきたいと考えています。

○菅野こども未来課長 日頃から各園で節電に取り組んでいます。特に職員用の事務室等は徹底して休憩時間に消灯し、エアコンも適切に使用することなどに取り組んでいます。

○菅野教育長 施設の中でも子ども達が、どのような取り組みができるかを考えながら実践させていくことも大切だと思います。教育の 1 つとして、進めて欲しいと思います。

その他ありましたらお願いします。

○宍戸委員 放課後児童クラブ建設事業で委託料が約 600 万円減額されています。理由を教えてください。

○菅野こども未来課長 6月に基本設計、実施設計の入札を実施し、請差があったこと、また建設場所の地盤調査データは以前のものを使えるため、減額しました。

○菅野委員 遠距離通学支援事業の説明で、へき地児童生徒援助費等補助金と記載がありますが、詳しく説明をお願いします。

○邊見学校教育課長 児童生徒の人数が確定し、当初の見込みより国庫補助が増額となったため、市の一般財源は減額となります。

○菅野委員 伊達市内のへき地校はどこですか。

○邊見学校教育課長 月館学園、掛田小学校、石田小学校、小国小学校、霊山中学校です。

○菅野教育長 この事業の補助金は、へき地校に通っている子ども達に補助するのではなく、遠距離通学をしている子ども達に補助するものです。

その他ありましたらお願いします。

○穴戸委員 認可外保育施設への補助金を増額すると記載がありますが、施設はどのくらいありますか。

○菅野こども未来課長 現在2つあります。介護施設ファミリーユの従業員用保育施設と北福島医療センターの従業員用保育施設です。

○菅野教育長 他になければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

○菅野教育長 異議なしと認め「議案第29号 令和4年度伊達市一般会計補正予算(第8号) 教育委員会分について」は原案のとおり可決されました。

13 日程7 協議

○菅野教育長 協議に移ります。「伊達市教育大綱改定案について」教育総務課長から説明をお願いします。

○大河原教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 協議資料1ページについて、ご意見等ありましたらお願いします。  
なければ、次に(1)子育て支援について担当課長から説明をお願いします。

○菅野こども未来課長 資料により説明

○畠ネウボラ推進課長 資料により説明

○菅野教育長 委員の皆様の質疑をお願いします。

○菅野委員 「認定こども園や放課後児童クラブ等における異年齢で群れ遊ぶ経験を通した思いやる気持ち、挑戦意欲、他者と協力する気持ち等の豊かな心や社会性の育成」とありますが、「異年齢で群れ遊ぶ経験を通して」にした方が良いかと感じました。

○菅野こども未来課長 「通して」という形に修正したいと思います。

○菅野教育長 その他ありましたらお願いします。

○貝羽委員 「通して」にした場合、最後の「～社会性の育成」で終わらず「～する」等にしたほうが良いと感じます。

○大河原教育総務課長 この部分の形式ですが、他の部分も全て体言止めにしていません。「通して」に変更した場合、最後は「～する」等にした方が文章的に良いとは思いますが、「経験を通した」が「思いやる気持ち」にだけかかってしまうように見える場合は、読点を入れる等検討します。

○菅野教育長 再度検討していきます。

他になければ、次に(2)学校教育について担当課長から説明をお願いします。

○邊見学校教育課長 資料により説明

○大河原教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 委員の皆様の質疑をお願いします。

○貝羽委員 現行の教育大綱の中の①、③には「コミュニケーション能力」という文言が含まれていますが、今回の改定案に全く出てきていません。あえて、入れていないのですか。

○邊見学校教育課長 「主体的・対話的で深い学び」の中に含まれていると考えてい

ますので記載はしていません。

○大河原教育総務課長 ③も「コミュニケーション能力」という言葉を入れなくとも「生きる力を身に付けることができる」に包含すると考えています。

○貝羽委員 個人的な意見ですが、コロナ禍においてコミュニケーション能力は重要なポイントであると思います。1ヶ所だけでも入っていたほうが良いのではと感じました。

○菅野委員 私も同意見です。「コミュニケーション能力」という表現を使用すると具体性があり、分かりやすいのではと思います。

○邊見学校教育課長 再度検討していきます。

○菅野教育長 その他ありましたらお願いします。

○菅野委員 「また、東北中央自動車道の全線開通や住宅開発、大規模商業施設の開業等を踏まえ、よりよい教育環境の実現に努めていきます」とありますが、東北中央自動車道の全線開通や住宅開発、大規模商業施設の開業等が教育に対して影響を及ぼすというのは具体的にあるのか疑問を感じました。

○大河原教育総務課長 現行の教育大綱の中に「児童生徒数が急激に増加する」という表現がありました。伊達地域のように現在児童生徒数が増加している地域もあるため、増加する地域、減少する地域、全ての児童生徒の教育環境をよりよいものにするために努めていきたいという思いがあり、記載しました。

○菅野委員 今後の方向性等のところですが「また、住宅開発、大規模商業施設の開業等による学校の環境の変化にも対応していく必要がある」と記載があります。「学校環境の変化」という部分が児童数に関わってくると思います。そうすると「よりよい教育環境の」というと「東北中央自動車道の全線開通や住宅開発、大規模商業施設の開業」により、教育環境がマイナスになっていくことを予測して「よりよい教育環境の実現」というふうに個人的に読み取ってしまいました。他に良い表現はありませんか。

○大河原教育総務課長 いただいた意見を基に検討させていただきます。

○菅野教育長 その他ありましたらお願いします。

○関根委員 「家庭・地域社会と教育目標を共有」、「連携・協働」と記載がありますが、スクールコミュニティを通しての活動や地域社会との協働と理解して良いですか。

○邊見学校教育課長 スクールコミュニティが中心になると思いますが、教育目標自体をホームページや学校だより等で地域の方と共有し、一緒に子ども達に携わっていきます。

○菅野教育長 その他ありましたらお願いします。

○穴戸委員 「次代の伊達市の未来を拓く子どもたちに～」とありますが「次代」と「未来」は意味が近い言葉だと思います。「未来を拓く」を加えた理由を教えてください。

○邊見学校教育課長 「未来を拓く」という文言が総合計画の基本理念に出てきます。「伊達市を担う」ですと何かを背負うように感じるため、「未来を拓く」に変更しました。

○菅野委員 「次代」という言葉を削除するか、他の言葉に言い換えたほうが良いと感じます。

○邊見学校教育課長 意味が重複する部分もあるため、再検討します。

○菅野教育長 他になれば、次に（３）生涯学習について担当課長から説明をお願いします。

○菅野生涯学習課長 資料により説明

○菅野教育長 委員の皆様の質疑をお願いします。

なければ、次に（４）スポーツ・レクリエーションについて担当課長から説明をお願いします。

○菅野委員 今後の方向性に「部活動の地域移行を支援する必要がある」とありますが、これは学校教育の中に入ってくると個人的に思います。学校教育の中に部活動の内容はありますか。

○原教育部長 部活動の地域移行の一番の受け皿になりやすいところがスポーツ・レクリエーションをやっている団体、そして生涯学習の中に属するものだと思います。

地域移行するために指導者の育成、スポーツに気軽に参加できる環境づくりが大切になってきます。まずはこのような受け皿になる取り組みを始めていくため、記載しました。

○菅野委員 中学校の部活動は、今後地域移行されていきますか。

○邊見学校教育課長 国からも方針が出ており、近いうちに地域移行を行っていきます。本市においても、来年度から関係者で会議等を開催し、部活動の地域移行推進について方法を検討していきます。現在、部活動指導員が市内に10名おり、各中学校で顧問の代わりに部活動の指導、引率も出来ます。また生涯学習課のスポーツ・レクリエーション関係の指導者と連携しながら、移行を目指していきたいと考えています。

○菅野教育長 土、日曜日を地域に移行し、その後、全面的に移行していきます。部活動は、生涯学習の一つであるという方向性が国からも出されたと新聞に記載がありました。学校教育の中で部活動という位置付けがなされ、学習指導要領の中でも教育活動の延長線上にありましたが、現在は見直しが進んでおり、生涯学習の一環として行っていくべきではという意見があります。

○菅野委員 中学校の部活動のあり方について考えているところがありました。また、地域移行の受け皿が先に出来て、本市部活動の地域移行の話題が出る前だったため、疑問に感じました。

○菅野教育長 体制の整備等を今後検討していきます。

○菅野教育長 他になれば、次に（５）歴史・文化財・芸術文化について担当課長から説明をお願いします。

○菅野生涯学習課長 資料により説明

○菅野教育長 委員の皆様の質疑をお願いします。  
なければ、最後に全体を通して質疑ありましたらお願いします。

○宍戸委員 部活動の地域移行は、中学校を週休2日制に移行する理由の1つとしてヨーロッパ型の部活動を推進するためだったようです。まだ実現していませんが、今後地域移行を進めるため、地域に協力してもらわないといけないと思います。

○菅野教育長 今後の検討に活かしたいと思います。  
その他ありましたらお願いします。

○大河原教育総務課長 いただいたご意見を基に各担当課長と内容の文言を検討、修正し、第2回総合教育会議で市長を交えて意見交換等をしていただきたいと思います。

○菅野教育長 教育大綱は、就学前教育、学校教育、青少年育成、生涯学習、社会教育と大きな教育の一つの大綱になります。第2回総合教育会議の場で意見をいただければと思います。

#### 14 日程8 報告

○菅野教育長 次に報告に移ります。最初に教育長資料に基づき報告します。

#### 令和4年度 11月定例教育委員会会議 教育長報告資料

##### 1 新型コロナウイルス感染症への対応【こども未来課、学校教育課】

(1) 保育園・幼稚園・認定こども園、屋内子ども遊び場、放課後児童クラブ等における現状と対応

○菅野こども未来課長 10月定例会以降、8日までの保育園等の状況について報告します。園児の陽性者は、公立園が16人、私立園が22人です。当園全体の閉鎖や学級閉鎖は、公立園2園、私立園5園でした。

放課後児童クラブ陽性者は、49人でした。ふしぐろ、ほばら児童クラブでは、クラス閉鎖等の措置をしました。

屋内子ども遊び場に関連した陽性者等はありませんでした。

10月末から感染者が急増しており、予定していた遠足等を延期するなど対応しています。クラス閉鎖等は、随時担当医師と相談しながら決定しています。

(2) 小中学校における現状と対応

○邊見学校教育課長 10月定例会から8日までの陽性者は、小学校で149人、中学校で69人です。臨時休業は1校で2日間。学年閉鎖は、1校で2日間。学級閉鎖は計11学級で3日の学級閉鎖が5学級、2日の学級閉鎖が5学級、1日の学級閉鎖が1学級でした。今年8月の1日あたりの平均陽性者数は、6.6人でしたが、11月1日から8日までは、1日の平均陽性者数は12.6人と非常に増加しています。10日に園長校長会議があるため、各学校へ感染対策依頼をしていきたいと考えています。

##### 2 福島県市町村教育委員会連絡協議会第2回伊達支会役員会について【教育総務課】

(1) 期日・場所：令和4年10月25日（火）・伊達市役所

(2) 協議事項

- ① 令和4年度伊達支会事業及び中間決算報告について
- ② 令和5年度伊達支会事業計画案及び予算案について

- ③ 令和5年度伊達支会研修会について
- ④ その他

○大河原教育総務課長 ①、②は、ほぼ例年と同様の内容で中間決算報告、来年度の事業計画案、予算案について提示し、意見をいただきました。来年度予算案で例年と異なる部分は、小学校の教科用図書を選定審査会の負担金が発生します。また来年度の県北ブロック研修会は、川俣町で開催予定です。例年7月から9月に開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で変更となる可能性もあります。

③令和5年度伊達支会研修会は、令和5年5月25日木曜日に総会と研修会を開催する予定です。研修内容は、県立だて支援学校の視察研修を行う予定です。懇親会は、開催を前提として、新型コロナウイルス感染状況で開催の有無を判断していきます。開催場所は本市内です。

申合せ事項の変更をご報告します。令和6年度の県北ブロック研修会は、本市が担当する予定です。また、令和5年度の県の教科用図書選定審議会の委員は、伊達支会が担当となるため、桑折町教育委員会の教育委員の中から女性委員1名にお願いする予定です。

### 3 今後の主な行事の予定について

#### (1) 令和5年「伊達市二十歳のつどい」の予定【生涯学習課】

- ① 期日：令和5年1月8日（日） 場所：伊達市保原体育館
- ② 式典：10時30分～11時10分（受付9時30分～）教育委員出席  
実行委員企画事業：11時15分～12時00分

○菅野生涯学習課長 成年年齢が18歳に引き下がりましたが、本市では、20歳を対象に名称を「成人式」から「二十歳の集い」と変更して開催します。今年度からは会場を1ヶ所にして、保原体育館で1月8日日曜日10時30分から開催予定です。対象の568人に今後案内を発送していきます。式典は10時30分から11時10分まで、その後、実行委員会の企画を11時15分から12時まで行う予定です。教育委員にも出席いただきたいと思います。また18歳の新成人と19歳の方へ市長からのお祝いメッセージを記載したハガキを個別に送付する予定です。新成人には成人証書の授与は行わず、市長からのお祝いメッセージを式次第の裏面に記載して配付したいと考えています。実行委員の企画事業は現在検討しています。

#### (2) 令和4年度立志式の予定【こども未来課】

- ① 期日：令和5年1月31日（火） 場所：伊達市保原体育館
- ② 内容：式典（約30分）＋芸術鑑賞会（約90分）
- ③ 方法：2部構成

- AM開催：9:20～11:40〔梁川中、松陽中、霊山中、だて支援学校（計237人）〕

○ PM開催：13:30～15:50〔伊達中、桃陵中、月館学園中（計244人）〕

○菅野こども未来課長 資料により説明

教育委員の出席は、住んでいる地域の中学校に合わせてお願いします。後日改めて案内します。

4 各種大会・コンクール等への参加（体位・体力の向上、たくましい心の育成、豊かな人間性・社会性の育成、地域との交流）

（1）68回青少年読書感想文コンクール県審査会

① 小学3年 入 選：秋葉綱太（梁川小）

② 小学5年 準特選：鈴木歩真（伊達小）

③ 小学6年 特 選（中央審査会出品）：滝沢陽日（保原小）

④ 小学6年 準特選：猪狩結斗（伊達小）

⑤ 中学1年 入 選：熊谷維太郎（伊達中）

（2）県下小・中学校音楽祭第2部合奏

① 小学校の部 ○ 金賞：伊達小学校

② 中学校の部 ○ 銀賞：月館学園

5 10月教育長の部屋

6 その他

（1）学校だより、新聞報道等から

（2）その他

○菅野教育長 何かご意見ご質問があればお願いします。

○貝羽委員 現在の本市小中学校の不登校者数を教えてください。

○邊見学校教育課長 9月末現在で小学生が10人、中学生が61人です。今年度のデータですが、現状としては増加傾向にあります。

○菅野教育長 その他ありましたらお願いします。

○菅野委員 学級閉鎖、園閉鎖がありますが1～2日だけ閉鎖をしても効果はありますか。

○邊見学校教育課長 学級閉鎖は、最終接触日から5日間で計算をしますが、実際には土日祝日があるため、学級閉鎖が短くなります。

○菅野委員 学級閉鎖があった隣のクラスで連鎖的に学級閉鎖があり、閉鎖期間が短

すぎるのではないかと個人的に感じていました。

○邊見学校教育課長 現在陽性者が増加しており、場合によっては学年閉鎖、臨時休業も考えていかなければと思います。文部科学省からの指示は「学級の中で関連性のある感染者が複数出た場合は、学級閉鎖とする。その他学年に感染する場合は学年閉鎖、臨時休業も検討する」となっています。また基本的には学級閉鎖等は5日程度とするという通知に従っています。

○菅野委員 学級閉鎖等があることで校内外の行事が再開されたにもかかわらず中止、延期になることが残念であると感じます。

○原教育部長 新型コロナウイルス感染症対策は、各学校で迅速、的確に対応しています。その中で陽性者が多い、濃厚接触者が多い場合は、学級閉鎖をしています。家族が陽性となり、濃厚接触者になった場合等は、学級閉鎖にしません。感染状況の聞き取り等をしながら精一杯対応しています。

○菅野教育長 その他なければ次に（2）各教育委員の皆様からの報告に移ります。報告のある委員の方の発言をお願いします。

○穴戸委員 県内こども食堂のネットワークの代表が教え子で状況を聞いたため報告します。ネットワークに入っているこども食堂の数は、64ヶ所です。ネットワークに入っていない食堂も含めると90ヶ所になります。現在、こども食堂は居場所づくりが中心になっています。親同士の子育ての情報交換、また、ひとり暮らしの男性が参加している食堂もあるそうです。発達に関する相談等を受けているところもあるようです。各食堂への支援は社会福祉協議会や自治体がしています。郡山市の場合は、市が窓口になり、ヨーク財団からの支援をこども食堂に配分しているそうです。こども食堂は狭義の意味ではなく広義の意味に捉えられているようです。

○鹿股こども部長 今月始まるこども食堂が1ヶ所あり、計7ヶ所となります。こども食堂という名前ですが、地域の食堂、誰でも来てもらえる居場所づくりを目指していますが、開始して間もないため、最初は子どもを対象に展開し、その後発展して地域の居場所づくりの場になっていけばと考えています。こども食堂同士でネットワークを組み、情報共有をしていきます。また月1回定例会を開催し、よりよいものにしていきたいと思っています。郡山市とヨーク財団が連携していると報告がありましたが、我々の目指すところは、福島市のように食材等を様々な企業から提供してもらい、各こども食堂に配付することです。ネットワークの中で同じようにできないか検討しているところです。

○菅野教育長 何かご意見ご質問があればお願いします。  
なければ次に（３）その他に移ります。発言のある方はお願いします。

○大河原教育総務課長 菅野委員から先月指摘があった保原小学校のブランコ周りの安全柵ですが、業者と本市職員で確認をして、年内には修理をしたいと思います。

○菅野教育長 その他になれば、教育委員会行事報告・予定表について、教育総務課長お願いします。

○大河原教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 他になれば、次回の日程について事務局から説明願います。

○大河原教育総務課長 次回の定例教育委員会会議

日時 令和４年12月14日（水）13時30分～

会場 伊達市役所 東棟3階 庁議室

15 日程9 閉 会

○菅野教育長 本日の11月定例教育委員会会議は、16時04分で終了します。

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

令和４年11月9日

議事録署名人

3番委員

---

4番委員

---

議事録調製者 教育総務課総務企画係主事 大橋 勝